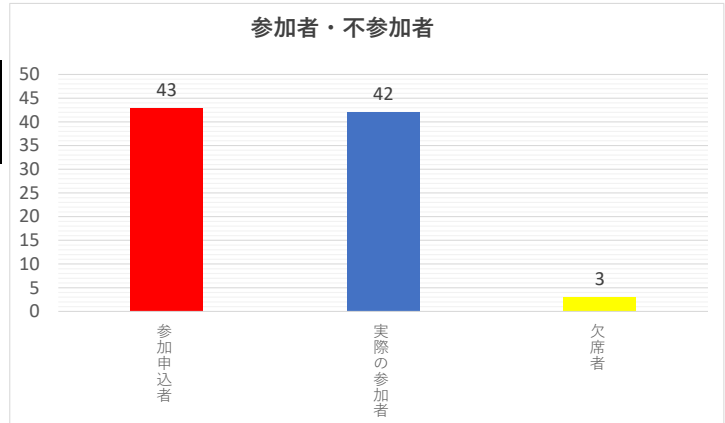


令和2年度 権利擁護支援従事者研修アンケート統計

1. (1)参加者の割合

参加者・不参加者	参加申込者	43
	実際の参加者	42
	欠席者	3

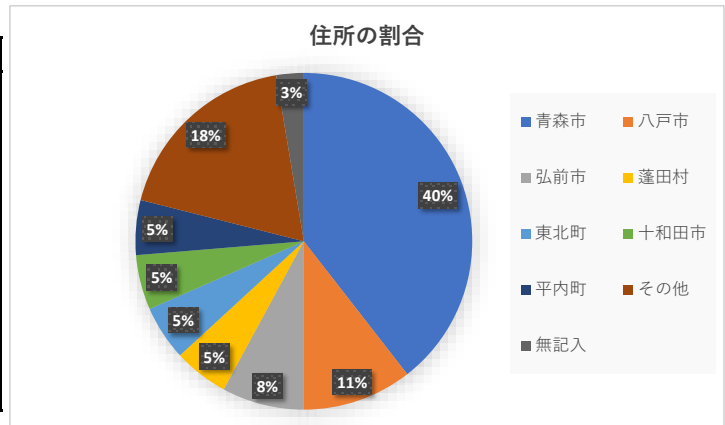


(2)アンケート提出率

参加者	42
アンケート提出者	38
提出率	90.5%

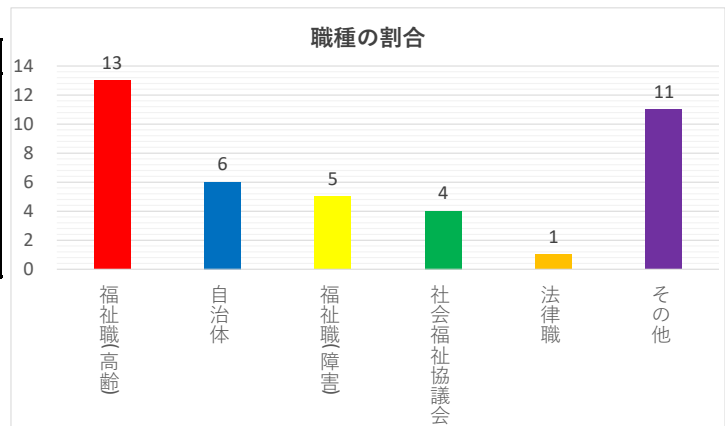
(3)住所の割合

	回答数	回答率
青森市	15	39.5%
八戸市	4	10.5%
弘前市	3	7.9%
蓬田村	2	5.3%
東北町	2	5.3%
十和田市	2	5.3%
平内町	2	5.3%
その他	7	18.4%
無記入	1	2.6%
計	38	100.0%



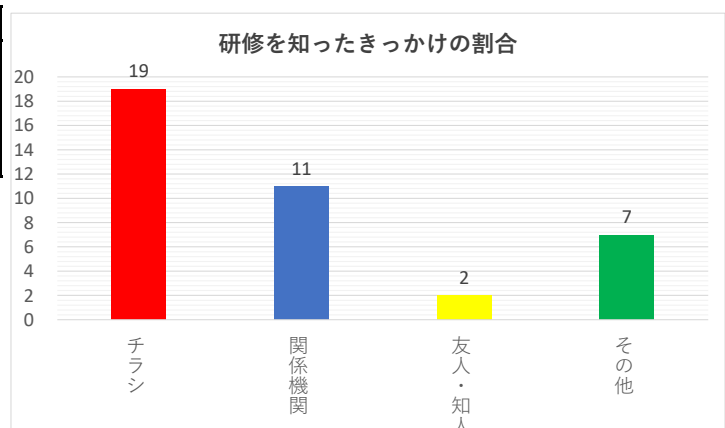
(4)職種の割合 ※複数選択

	回答数
福祉職(高齢)	13
自治体	6
福祉職(障害)	5
社会福祉協議会	4
法律職	1
その他	11



(5)研修を知ったきっかけの割合

	回答数
チラシ	19
関係機関	11
友人・知人	2
その他	7

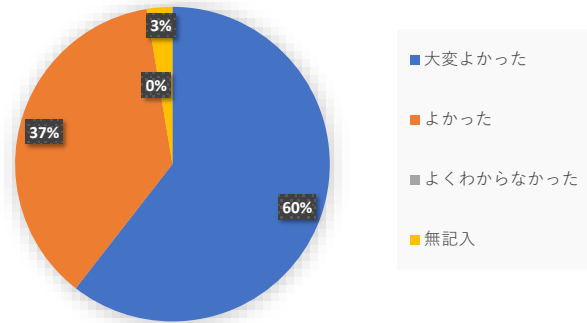


令和2年度 権利擁護支援従事者研修アンケート統計

2. 基調講演「成年後見制度における身上保護の内容と考え方」についての意見・感想

	回答数	回答率
大変よかった	23	60.5%
よかった	14	36.8%
よくわからなかった	0	0.0%
無記入	1	2.6%
計	38	100.0%

基調講演「成年後見制度における身上保護の内容と考え方」についての意見・感想



意見・感想等

成年後見人の役割は利用者がメリットを実感できるものだと思いますので、単に財布を預かっているだけではなく、本人の生活状況を見守り、本人がベストな状況で暮らしていただくために使うお金であればそれでサポートしていくことが大切だと思います。ご本人の身上保護の充実のため、勉強になりました。ありがとうございました。

自身の知識不足のため、難しかったです。

勉強不足でした。

制度について、法や時代背景という側面から知ること、後見制度の意義やあるべき姿について改めて考え、解釈するよい機会となった。

旧民法や禁治産者が使われた時代からの説明が興味深かった。

法学部の先生だからか、ある程度学んでいなければわからないような単語が多く見られ、私は検索しながら受講していた。口頭のみではわかりにくいものもあった。文字ばかりのスライドは見にくいので写真や画像があるとよいと思う。本質的なところから民法をベースにした開設はとても勉強になりました。

外国との違いということで、日本人の権利に対する考え方や契約についての考え方はどうなのかを考えました。制度を利用する時点で医療同意権と居住指定権の付与が先送りされたということにそれまでの権利の考え方や生活の在り方が表れているのではないのでしょうか。この2つの権利が後見人に付与されるためには私たち1人1人が医療や居住に対してもっと自覚的になること、尊重し合うことの法的な意味・意義について話し合いを深めていかなければならないと思いました。付与が必要か否かも含めて。

身上保護の課題を具体的に解説してもらった。

制度や理念、現場と実践の相克を生々しくお聞きできてよかったです。

上山先生の話がとてもわかりやすかった。医療同意権についてよく考えてみようと思った。

医療同意権について何だかよくわからなかったのですが、具体的に説明をしていただき、理解できました。

歴史も交えて説明していただき、とても分かりやすかったです。

大変勉強になりました。ありがとうございました。またの機会にも参加したいと思いました。

成年後見制度を利用している者や関係者間で必ず医療同意権について話し合います。医療同意権の不在が何故なのかを知り、とても勉強になりました。認知症の方だけでなく、国民全員で考える問題、また現場の声がとても大事だということに感銘を受けました。旧制度から現在にかけて本人、家族の意向、制度の内容が変わってきているのだとわかりました。

上山先生が難しい話を噛み砕いて説明してくださったので理解できました。今後の法整備を見守りたいと思います。

後見制度普及について国民のほとんどが知らないことと思います。福祉関係者であれば多少の理解はありますが、そのため、これからの動きで高齢者であろうとわかりやすい対応方法を見つけて欲しいと思います。さらに、後見人になる方も増やすことを目指すにはもっとやりがいや役割をわかりやすく、さらに簡潔にできるようになればよいと思います。

成年後見制度を法律的に噛み砕いて説明して頂きとてもわかりやすかった。

介護保険と両輪でスタートしたと20年前に聞いたことを思い出しました。介護保険だけがどんどん進んでしまっているような感じがします。先生にお会いできてよかったです。ありがとうございました。

家族信託との関連性についても伺いたいと思いました。

申し訳ないのですが、少し長いように感じました。介護保険と誕生が一緒というのは知らなかったけど、オマケだと考えると納得できました。医療同意権はよく話題になるものと思います。捉え方によって見方は当然変わってきます。働きかけがなければ意味はないでしょう。

財産管理は本人を守ること、本人のために使うことだと理解しました。

後見人制度の制定から改定に至る背景及び現状、そしてこれからについて、とても分かりやすく説明していただきました。貴重な話を聞けてよかったです。

成年後見のこれまでの経緯や仕組み、考え方をよく理解できた。

歴史的な背景から根本的な考え方を学べ、とても勉強になりました。

法に関わる部分があり、とても勉強になりました。

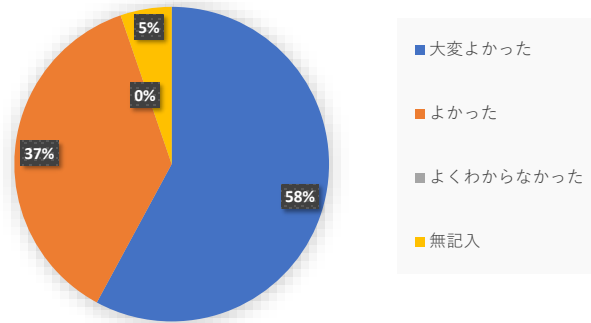
有名な先生の意見を長く聞けて大変勉強になりました。

令和2年度 権利擁護支援従事者研修アンケート統計

3. パネルディスカッション「成年後見制度を支える期間の実際の取り組み」についての意見・感想

	回答数	回答率
大変よかった	22	57.9%
よかった	14	36.8%
よくわからなかった	0	0.0%
無記入	2	5.3%
計	38	100.0%

パネルディスカッション「成年後見制度を支える機関の実際の取り組み」についての意見・感想



意見・感想等

成年後見制度の近いがまだまだされていない現状です。村内だけでも家族関係が薄れている高齢者のケースが多く、相談等も増えてきていますが、成年後見への申請まで進めていない気がします。難しいです。

来年度、蓬田村成年後見支援センターの委託をされる予定です。今後、権利擁護についての研修に積極的に参加し、できることからやってみようと思っています。
10/5(月)の研修も参加予定です。まずは実状を知ることが大事だと思いました。特に、あおい森ねつとの藤田さんの話は身近に感じられました。

実際の事例から今まで持っていなかった視点を知り、それを基に学習できた。

吉田さんが責任の所在と覚悟というお話をされたところに共感しました。その後、上山先生が医療同意の形骸化とご指摘されていました。責任の所在を明確にしない国民性、日本人の美德など、ここがポイントだと思いました。他者の命の責任を負うことは難しい。

他県の状況を知れて参考になった。医療同意のことで上山氏の話がわかりやすかった。

医療同意の現状がよくわかりました。

今井コーディネーターの話がとても楽しかった。また来て欲しい。

それぞれの取り組みが参考になりました。

ネットワーク作りが重要ですね。お疲れ様でした。
一般人の後見人に対する理解がまだまだ足りない。講習会や勉強会を開催して理解度を増す必要があると思います。

権利擁護センターがチームで被後見人を支えるという体制をとってくれているのでサービスや被後見人の精神的な支えにもよい方向へつながっていると思いました。育成会が身上保護の面でしっかりと被後見人を支えている為、被後見人も親も安心できる、大事なことだと思いました。弘前圏域権利擁護センターの広域設置や具体的な実践活動についてわかりやすく解説していただき、ありがたかったです。医療同意について専門の方々も同様な意見を持っていると思うと、また明後日からの仕事をがんばれると思いました。

コーディネーターの今井さんの司会が上手で、各事業所の問題点を聞いてよかったと思う。カシオペアの小野寺さんの医療同意の意見は役に立ちました。

それぞれの取り組みが参考になりました。地域での動きはとても素晴らしいと感じました。1人1人が支え合ってより拡がることを希望します。自分も後見人という意味をしっかりと理解すべきだと思いました。

各団体の活動から見た課題や今後の展望等を聞いた参考になった。

事例を伺うことが一番頭に入ってきます。勉強になりました。岩手県二戸市も弘前市も頑張っていますね。うらやましいです。青森市は芳しくない。

それぞれ違うので比較は不適切だと思います。

実際に活動している中での事例紹介を聞いたので、成年後見の難しさや問題点が理解しやすかったです。またの機会があったら参加したいと思います。

医療同意権の基本的考え方と各地域の実情の一端を理解できた。

実際に支援されている方々の話を聞いて、貴重な時間でした。課題については共感・納得できる回答でした。自分たちの自治体で正しい知識を啓発できるよう自分自身、正しい理解を深め、学んでいきたいです。

気になっていた医療同意権に関して、それぞれの対応について知ることが出来てとても参考になりました。チーム会議で決めることが本人の支援につながることに納得できました。身寄りのない方、親族と疎遠になっているケースも増えているので、医療同意について課題に出ることが今後多くなると感じました。

身近な例を取り上げられていてとても役に立ちました。

説明が約15分と短く、ディスカッションの部分が長くてよかった。